

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名				特別定額給付金給付事業				②事業番号		1321						
③事業類型		3. 政策推進事業			④開始年度		令和	2	年度	⑤終了予定年度		令和	2	年度	設定なし	
⑥根拠法令等		法令	条例	規則	○要綱	計画等		その他	法令等の名称		特別定額給付金給付事業費・事務費補助金交付要綱					
⑦実施手法		○直営	全部委託		一部委託		補助・負担		その他							
⑧関連予算科目コード			款	2		項	1		目	9		細目	21			
⑨担当部名			⑩担当課名								会計	一般会計				
総合政策部			政策推進課													

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しつつ、迅速かつ確に家計への支援(国民一人当たり10万円を支給)を行う。	① 金額	千円
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しつつ、経済活動を停滞させないため、国民一人一人に迅速に給付金(10万円)を支給する。	人口に対する支給率	%
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
新型コロナウイルス感染症によるひっ迫した経済状況打破に寄与する。	政策(章)	3 産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち
	施策大(節)	3 買物がしやすく人びとの交流の場ともなる、にぎわいと商業のまちをめざします
	施策中	1 商業・サービス業の振興
	施策小	1 地域商業の活性化

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	人口	人	0	0	60,795	0	0	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	金額	千円	0	0	6,116,600	0	0	
活動指標②								全市民に対し、ひとりずつ10万円を支給する。
活動指標③								
成果指標①	人口に対する支給率	%	0	0	100	0	0	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.00	0.00	0.28	0.00	0.00	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	0	0	2,137	0	0	迅速かつ確に給付金を支給する。
	直接事業費	千円	0	0	6,135,959	0	0	
	総事業費	千円	0	0	6,138,096	0	0	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	6,135,959	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	2,137	0	0	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	新型コロナウイルス感染症の流行による。
②開始から現在までの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	R3年度も市民の日常生活において、新型コロナウイルス感染症の深刻な影響が続いている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	全国一律の制度である。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	ほぼ、全市民に支給された。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	—
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	—
--	----------------	---

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	新型コロナウイルスの感染防止対策を図りつつ、経済の活性化に寄与できた。 A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ウ	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(2 年まで) (年 から) (年 から)
	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—